



令和6年3月27日

コロナ感染後の長引く症状のすべてが後遺症とは限らない ～コロナ後遺症外来で見つかった内科疾患から～

◆発表のポイント

- ・コロナ後遺症外来を受診する方の中に、一定の割合で、他の様々な疾患が隠れており、特に高齢者ほど、他の内科疾患が発見される割合が高いことがわかりました。
- ・後遺症の症状に関連する病気が見つかる場合は67%で、その他は後遺症症状と関連のない病気も発見されています。
- ・コロナ感染後も症状が長引くときは、他の病気が隠れていないか診療しておくことが大切です。

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医） 高梁（たかはし）総合診療医学講座の中野靖浩講師と、学術研究院医歯薬学域（医） 総合内科学の大塚文男教授らのグループは、岡山大学病院のコロナ後遺症外来（コロナ・アフターケア外来）を受診する患者の中に、一定の割合で、他のさまざまな疾患が隠れていることを明らかにしました。これらの研究成果は、2024年3月5日、ドイツ Springer Nature社のオープンアクセスジャーナルである「Scientific Reports」に掲載されました。

コロナ後遺症は、世界的な社会問題となっており、日本でも診療できる医療機関が増えてきました。しかし、コロナ感染後も長引く症状のすべてが後遺症であるとは限らず、特に高齢者ほど、他の疾患が見つかる割合が高いことがわかりました。コロナ後遺症の診療では、他の疾患が隠れていないかきちんと調べるのが大切と考えられます。

本研究成果により、コロナ感染後も長引く症状のある方の中には、実は隠れている他の疾患を診断・治療することで症状が改善する可能性があることが期待されます。

◆研究者からのひとこと

当院のコロナ・アフターケア外来は、総合内科・総合診療科の医師が複数人で担当しています。常日頃から総合的に診療する当科だからこそ、隠れた疾患を見逃さずに多く発見できたのだと思います。これからも総合的な幅広い視点で、診療に臨みたいと思っています。



中野靖浩 講師

コロナ感染後2～3カ月たっても、倦怠感をはじめ色々な症状が続く場合は、かかりつけ医に相談することをお勧めします。コロナ禍での健診控えもあり、きちんと検査をしておくことも大切です。



大塚文男 教授



PRESS RELEASE

■発表内容

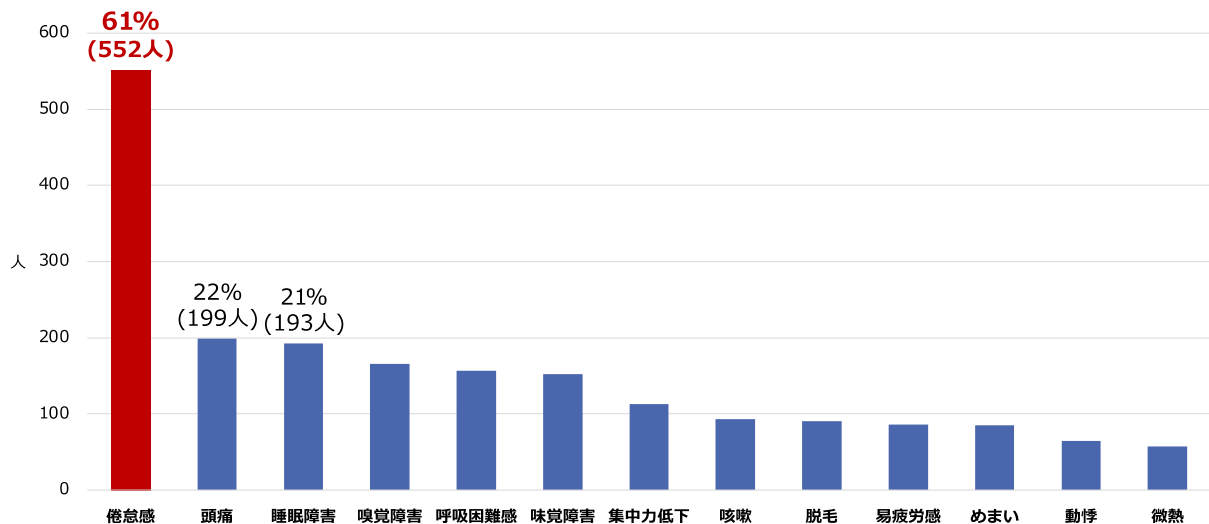
<現状>

新型コロナウイルスは、世界的大流行を引き起こし、日本でも 2023 年 7 月時点で 3300 万人以上が感染しました。かぜ症状や肺炎を起こすだけでなく、回復後も倦怠感などの症状が長引くことがあり、コロナ後遺症と言われています。コロナ後遺症により、仕事を続けられない人もいて社会的な問題となっており、コロナ後遺症の病態解明や治療法の開発が望まれています。岡山大学病院のコロナ・アフターケア外来では、2021 年 2 月 15 日の外来開設からこれまでに 900 人を超える後遺症患者を診療してきました（下図）。

DEPARTMENT OF GENERAL MEDICINE

後遺症症状を訴える人数 (906人中)

令和3年2月15日～令和6年2月29日
906人受診のデータ
(当科CAC外来を受診した914人のうち)



研究倫理審査専門委員会 岡山大学医療系部局研究倫理審査専門委員会 承認(研2105-030)

<研究成果の内容>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医） 高梁（たかはし）総合診療医学講座の中野靖浩講師と学術研究院医歯薬学域（医） 総合内科学の大塚文男教授らのグループは、コロナ後遺症を疑われて岡山大学病院のコロナ・アフターケア外来を受診した患者の中に、一定の割合で、他の様々な疾患が隠れていることをまとめて報告しました。

2021 年 2 月から 2023 年 6 月までの間に、当院のコロナ・アフターケア外来を受診した患者 731 人のうち、6.8%にあたる 50 人において、何らかの医学的介入や経過観察を必要とする疾患（52 疾患）が見つかりました。さらに、全体の 2.2%にあたる 16 人では、コロナ後遺症よりも治療が優先される疾患が見つかりました。何らかの疾患が見つかる割合は、高齢になるほど上昇し、60 歳以上では 15.7%に及びました。

疾患の内訳は、内分泌代謝疾患や血液疾患、呼吸器疾患が最多で、それぞれ 8 人の方に見つかりました。また、52 疾患のうち 67%にあたる 35 疾患は、コロナ感染後の長引く症状と関連があり、一方、症状との関連が最も乏しかったのは内分泌代謝疾患でした。



PRESS RELEASE

<社会的な意義>

コロナ感染後の長引く症状のすべてがコロナ後遺症とは限らず、コロナ後遺症とされている方の中には、実は他の病気による症状が重なっている可能性があることを示しています。コロナ後遺症の診療では、他の疾患が隠れていないかきちんと調べることが大切であり、隠れている他の疾患を診断・治療することで症状が改善する可能性があることが期待されます。

■論文情報

論文名 : Occult endocrine disorders newly diagnosed in patients with post-COVID-19 symptoms.

掲載紙 : *Scientific Reports*

著者 : Nakano Y, Sunada N, Tokumasu K, Honda H, Otsuka Y, Sakurada Y, Matsuda Y, Hasegawa T, Omura D, Ochi K, Yasuda M, Hagiya H, Ueda K and Otsuka F.

D O I : 10.1038/s41598-024-55526-3

U R L : <https://www.nature.com/articles/s41598-024-55526-3>

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）

高梁（たかはし）総合診療医学講座

講師 中野 靖浩

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医） 総合内科学

教授 大塚 文男

（電話番号）086-235-7342 （FAX）086-235-7345



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。